

令和5年度予算の概要

2月定例議会で令和5年度予算が原案どおり可決されましたので、予算の概要をお知らせします。
なお、令和5年度予算はその成立と同日に補正を行いましたので、補正後の予算についての概要です。

会計別予算

一般会計は271億3,620万円で、前年度と比較して2.7%、7億2,249万円増加しました。
特別会計と企業会計を合わせた全会計の総額は474億489万円で、前年度から2.0%、9億2,274万円増加しました。

一般会計歳入

歳入全体の43.5%を占める市税は118億1,414万円で、前年度から3.7%、4億2,469万円増加しました。主な要因は、個人住民税で所得割の基となる総所得金額などの伸びを見込んだこと、法人市民税で最近の景況感から相応の納付があると見込んだことなどによります。
一方で、市債については、前年度から49.2%、5億5,895万円減少しました。主な要因は、臨時財政対策債（地方交付税の振り替え）が、国の見込みにより前年度から55.6%、3億6,095万円減少したためです。令和5年度は、消防の救助工作車購入や狭あい道路の整備などのため市債を活用する予定です。

一般会計歳出

高齢者や障害者福祉、子育てや医療などに関する民生費は、障害者扶助の予算が増加しているほか、病児保育の施設整備のための補助の新設や(仮称)新橋爪・五郎丸子ども未来園整備などにより、前年度から5.3%、5億1,085万円増加しました。次に大きな割合を占める総務費は、ふるさと犬山応援寄附金（ふるさと納税）のさらなる獲得を目指すため事業費を増額した一方、市議会議員一般選挙などを執行する選挙費は減額しており、前年度から0.4%、1,869万円減少しました。また、教育費には全体で大きな変動はないものの、(仮称)新羽黒保育園の建設場所を準備するため、旧市民プール解体などの費用に1億6,321万円を計上しました。

会計別予算

一般会計		271億3,620万円
特別会計	国民健康保険特別会計	68億6,738万円
	犬山城費特別会計	2億4,485万円
	木曽川うかい事業費特別会計	6,121万円
	介護保険特別会計	58億3,287万円
	後期高齢者医療特別会計	15億519万円
小計		145億1,149万円
企業会計	水道事業会計	20億906万円
	下水道事業会計	37億4,814万円
	小計	57億5,720万円
合計		474億489万円

一般会計歳入

(構成比)

自主財源	市税	118億1,414万円	43.5%
	繰入金	22億7,710万円	8.4%
	寄附金	11億690万円	4.1%
	諸収入	8億2,330万円	3.0%
	繰越金	7億円	2.6%
	使用料及び手数料	5億3,633万円	2.0%
	財産収入	1億8,660万円	0.7%
	分担金及び負担金	9,997万円	0.4%
小計		175億4,433万円	64.7%
依存財源	国・県支出金	45億7,409万円	16.9%
	地方譲与税等	26億5,861万円	9.8%
	地方交付税	17億8,302万円	6.6%
	市債	5億7,615万円	2.1%
小計		95億9,187万円	35.3%
合計		271億3,620万円	100%

一般会計歳出

(構成比)

福祉と医療	(民生費)	102億3,491万円	37.7%
防災と市民サービス	(総務費)	42億1,116万円	15.5%
教育と文化	(教育費)	32億2,346万円	11.9%
健康と環境	(衛生費)	28億5,554万円	10.5%
都市の整備	(土木費)	22億425万円	8.1%
借金の返済	(公債費)	19億4,948万円	7.2%
消防と救急	(消防費)	12億2,198万円	4.5%
産業と観光	(商工費)	6億674万円	2.2%
農業と林業	(農林業費)	2億8,316万円	1.0%
議会の活動	(議会費)	2億3,754万円	0.9%
非常時の対応	(災害復旧費、予備費など)	1億800万円	0.4%
合計		271億3,620万円	100%

(注) 表示単位未満を四捨五入しており、合計が一致しない場合があります。

令和5年度の主な事業を紹介します

(仮称)新橋爪・五郎丸子ども未来園の造成工事

1億5,733万円

現在、橋爪子ども未来園と五郎丸子ども未来園の統合による新園建設事業を、令和7年4月開園を目指して進めています。令和5年度は、新園建設地の造成工事を行います。



新子ども未来園 外観イメージ

病児保育事業の施設整備

4,048万円

令和6年度の事業開始に向け、受託事業者である社会医療法人志聖会総合犬山中央病院に対し病児保育事業施設整備費や開設のための準備経費を補助します。事業実施により、緊急に子どもを預けられることで保護者が安心して働ける環境を整えることができます。利用人数は、1日当たり2人を予定しています。

※病児保育事業

子どもが発熱等の病気で集団保育が困難となり、保護者が家庭において看護できない場合の受け皿として、病院・保育所等の専用スペースで子どもを一時的に保育するための事業

(仮称)新羽黒保育園の整備を推進

1億6,321万円

現在、羽黒子ども未来園と羽黒北子ども未来園の統合による、民設民営での新たな保育園の整備事業を、令和8年4月開園を目指して進めています。令和5年度は、建設場所として選定している旧市民プールの解体工事や整地、用地測量を行います。



現在の旧市民プール

带状疱疹ワクチンの

予防接種費用を助成

2,358万円

50歳以上の带状疱疹ワクチン接種者に対し、不活化ワクチンまたは生ワクチンの接種料金の一部を助成します。

带状疱疹は加齢、ストレスなどによる免疫低下が原因で50歳以上から発症率が高くなり80歳以上では約3人に1人が発症するといわれています。

予防接種を受けることで発症を予防することができ、特に高齢者の生活の質の維持につながるため、接種者への経済的支援を行い接種しやすい環境をつくります。

都市計画道路蝉屋長塚線の基本設計

1,276万円

市南部の東西方向の主要な交通軸を整備し、交通環境の改善や円滑な道路交通処理を行うため、都市計画道路蝉屋長塚線の整備事業に着手します。市内には、市道犬山公園小牧線、県道春日井各務原線、市道富岡荒井線と南北の幹線道路があるなか、この道路を整備することで国道41号へ直接アクセスできる東西軸が確保でき、交通環境の改善を図ることができます。

令和5年度は、名古屋鉄道小牧線との交差工法の検討など道路基本設計を進めます。

